

ビジネス変革を実現する事業戦略

コア事業

事業本部長メッセージ

2023年3月期の事業概況と目指す姿

工業マーケット事業本部

(産業機器部門, 工業機械部門)

取締役
工業マーケット事業本部長

濱安 守



「デジタル」と「グリーン」でスマートファクトリーの実現を

工業マーケット事業本部は、工作機械や工場設備全般の販売、そして、工具・産業設備・機材・制御機器・物流機器などの最新鋭技術を、国内はじめ中国・アジア・北米などの製造現場にお届けし、日本と世界の「モノづくり」に貢献しています。

2023年3月期は、増収・増益を達成しました。スマートファクトリー実現に向けた生産現場の自動化・合理化に関する製品の販売や、各種補助金を活用した老朽化設備の更新、また、競争力向上のための高精度加工機の販売に注力した結果です。

国内・海外別に見ると、国内では、労働人口減少が大きな問題となっており、省人化・自動化要求が高まったことから、複合加工機の販売が伸長しています。海外では米中貿易摩擦による原材料費の高騰や、部品不足など負の要因はありましたが、それを上回る生産設備の大型案件が増加しました。

今後も世界に広がるグローバルネットワークと、これまでに培った貿易業務ノウハウ、そして国内外で連携するサポート体制により、日本と世界の「モノづくり」を支えます。また、スマートファクトリー化の支援を進めるため、製造ライン全体にワンストップで投資対効果の高い設備提案を実施し、さらに、創エネ・省エネ商品により、お取引先様のカーボンニュートラルを推進していきます。

住環境マーケット事業本部

(住設・管材・空調部門, 消費財部門)

専務取締役
住環境マーケット事業本部長

田中 謙一



当社の総合力を活かした機能強化

住環境マーケット事業本部は、住宅設備機器、管材商品、ビル空調や工場のクーティリティ設備など幅広い分野にわたって、設備改善の提案を行っています。

2023年3月期は世界的な部品不足を背景に、給湯器など一部商品に納期遅れなどが見られましたが、非住宅向けの商品販売とカーボンニュートラルに向けたシステム提案などに努めた結果、増収・増益を達成しました。

今後、住宅分野において、少子高齢化により新築住宅需要の減少が見込まれる中、高機能・高付加価値商品を拡販していくことにより、豊かなくらしの実現に貢献していきます。また、堅調に推移すると予測されるリフォーム市場をターゲットとし、当社の総合力を活かしたソリューションを推進していきます。昨今カーボンニュートラルが求められている非住宅分野のビルなどにおいても、省エネ・高効率商品を活用し、設備改善提案を行っていきます。

さらに、エンジニアリング機能強化のため、全国横断の施工体制を構築すべく全国施工協会の拡充を図るとともに、施工を専門とするグループ会社の強みを活かし、提案・見積から施工・メンテナンスまで一貫したサービスを全国で提供できる体制を整えていきます。

建設マーケット事業本部

(建築・エクステリア部門, 建設機械部門, エネルギー部門, 木材部門)

取締役
建設マーケット事業本部長

大村 貴臣



異なる事業領域をつなぎ新たな価値創造を

建設マーケット事業本部は、建築資材や景観・土木資材を積算から施工まで一貫してサポートする建築・エクステリア部門と、道路舗装や土木工事現場で活躍する最新鋭の産業用レンタル資材・小型建設機械を提案する建設機械部門、そしてエネルギー部門、木材部門から構成されています。

当事業本部は、変化する市場ニーズを捉え柔軟に新しいライフスタイルを提供することを目指しており、特に、全国規模の販売先ネットワークを有する建材卸は当社以外になく、取り扱い商品の多さとともに当事業本部の強みのひとつとなっています。2023年3月期は、資材・エネルギー価格の高騰や半導体不足による納期遅延などの影響が一部残りながらも、底堅い需要を捉え、増収・増益を達成しました。

中期経営計画においては、建築・道路資材販売・施工売上への更なる拡大はもとより、タイ市場への展開、建機レンタル・整備需要の掘りおこし、また当社グループで有する木材販売・エネルギー事業など、異なる事業領域をつなぐことで、新たな価値創造を目指していきます。

さらに、多発する災害に備えるべく、老朽化したインフラの整備事業や防災・減災・BCP商品の拡充、建設・工事現場の省力化・省人化対策ソリューション、SDGs関連商品提案など社会課題解決型ビジネスの推進を通じ、持続可能な「まちづくり」、そして未来づくりに貢献していきます。